

【報道関係各位／イベント事後レポート】

吉祥寺駅前に突如現れた異空間で、一般参加者がラグビーを体験！



【Sports for All 吉祥寺×ラグビー】開催



SNSで話題の「武蔵野市×コアミックス」コラボ企画も! ～日本にラグビーを呼んだ漢たちが吉祥寺に出現～

武蔵野市（市長：松下玲子、以降：本市）、武蔵野市教育委員会、東京2020大会等武蔵野市実行委員会は、令和元年6月2日（日）に、吉祥寺駅北口平和通りにて、ラグビーの普及啓発を目的としたイベント「Sports for All 吉祥寺×ラグビー」を開催しました。

本市は、9月から始まるラグビーワールドカップ2019™開幕戦で日本代表と対戦する「ロシア代表」の公認チームキャンプ地です。本市とロシアとの間には、1992年にハバロフスク市と締結した青少年相互交流協定があり、長年にわたる交流の歴史があります。ロシア代表の公認チームキャンプ地として、本番に向けて受け入れ態勢を整えるとともに、市民との交流の機会を創出していくます。

本イベントでは、吉祥寺駅前の平和通りを車両通行止めにし、ラグビー場が登場しました。

また、武蔵野市を本拠地に活動するラグビーチーム「横河武蔵野アトラスターズ、横河武蔵野アルティ・スターズ」の選手によるデモンストレーションや、ストリートラグビー体験のほか、元ラグビー日本代表キャプテンの廣瀬俊朗氏をお迎えし、ラグビーの魅力やラグビーワールドカップ2019™の見どころについてお話しいただきました。



〈本資料に関する報道関係者様からのお問合せ先〉

【武藏野市 Sports for All】 PR事務局（フロンティアインターナショナル内）担当：藤野、千葉
TEL：03-5778-4844 / FAX：03-5778-4747 / mail：frontier-pr@frontier-i.co.jp

■ゲストトーク

ラグビーワールドカップの魅力について聞かれると、「4年に一度ということで、選手もお客様も熱量が違うので雰囲気を感じ取ってほしい」とコメントしました。日本代表選手については、「勝つことを目指すのは当たり前だが、お客様に応援したいな、と思ってもらえるような良い試合をしてほしい」と期待を述べました。

ご自身の活動であるスクラムユニゾンについては、「国歌を通してその国の文化を学ぶことができる。みんなで歌って最高の思い出にすることがレガシーになると思う」と語りました。

最後に、会場の来場者へ「初のアジア開催ということで、僕たちにとってはとても大切な大会。日本の方々に関心を持ってもらうことが大事だと思うので、みなさんでそのムードを作ってほしい」とメッセージを送りました。



■デモンストレーション&ラグビ一体験

武藏野市を本拠地に活動するラグビーチーム「横河武藏野アトラスターズ、横河武藏野アルテミ・スターズ」の選手によるデモンストレーションが行われました。この日初めてラグビーを見るという来場者が多い中、選手同士による迫力のタックルが行われると、驚きながらもワクワクした表情を浮かべて見入っていました。

また、会場内では、ラインアウトリフトアップ、ヒットターゲット、パスターゲットの種目を選手たちと一緒に体験できるエリアや、3人対3人でプレーするストリートラグビーも展開されました。平和通りに登場した芝生のラグビー場で、老若男女問わず多くの来場者がラグビーを楽しみました。



■「武藏野市×コアミックス」コラボ企画

SNSでチバズリ中の本企画では、「北斗の拳」に加え、「前田慶次かぶき旅」「今日からCITYHUNTER」「終末のフルキューレ」キャラクター×ラグビーのオリジナルイラストが、フォトパネルになって吉祥寺の街に出現しました。パネルと一緒に写真を撮り、SNSに投稿すると、抽選で150名様に「武藏野市×コアミックス」のオリジナルTシャツが当たります。

それぞれのスポットで、思い思いに撮影する来場者の姿が見られました。

